

後 記

悲劇は繰り返してはいけない，という願いをこめて，この報告書を刊行したい。報告のまとめに当たり，岩盤崩落の原因を含め研究者個々の見解・仮説の討論と調整を行なうために時間がかかってしまった。本報告は今後の本格的事故原因究明のための基礎資料であって，結論ではないことを重ねてお断りしておく。なお，個人として週間雑誌に書いた記事（週間金曜日3月22日号）は地質年代について「800万年」を「1200万年」に訂正されている（同誌4月5日号）ことを蛇足ながら付記しておきたい。

（渡辺暉夫）